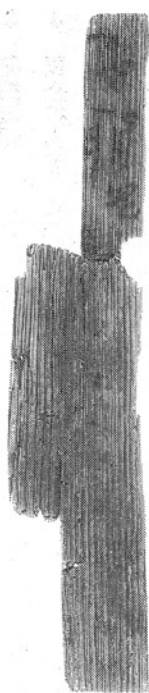


横に並べ、さらに「鬼」を書く符録である。

もう一点、墨書は確認できないが、木簡状木製品がある。長さ二五〇mm、幅一五〜二八mmで、一端の左右に切り込みがあり、墨書はない。出土状況は(1)と全く同じである。

他にも墨書をもつ木製品として、曲物など数点があるが、整理中のため、現段階での報告は右記のみにとどめたい。

(網田龍生)



木簡研究 第九号

巻頭言

田中 稔

一九八六年出土の木簡

概要 平城宮・京跡 興福寺旧境内 藤原京跡 和田廃寺

橋寺 曲川遺跡 長岡京跡(1) 長岡京跡(2) 長岡京跡(3) 長

岡京跡(4) 平安京右京三条二坊八町 平安京右京五条一坊三

町 平安京右京五条一坊六町 平安京右京八条二坊二町 平

安京右京八条二坊十二町 伏見城跡 大坂城跡 安堂遺跡

津田トッパナ遺跡 萱振A遺跡 祢布ヶ森遺跡 但馬国府推

定地 初田館跡 福田片岡遺跡 清洲城下町遺跡(1) 清洲城

下町遺跡(2) 居倉遺跡 土橋遺跡 駿府城三の丸跡 東京大

学構内遺跡 浜野川遺跡 神照寺坊遺跡 浄琳寺遺跡 光相

寺遺跡 吉地薬師堂遺跡 胆沢城跡 根城跡 生石2遺跡

新青渡遺跡 弘田柵跡 田名遺跡 曾万布遺跡 辻遺跡 富

田川河床遺跡 草戸千軒町遺跡 周防国府跡 中島田遺跡

大宰府跡 井相田C遺跡 吉野ヶ里遺跡

一九七七年以前出土の木簡(九)

平城宮跡(第三二次補足調査)

国語の表記史と森ノ内遺跡木簡

敦煌凌胡陰址出土冊書の復原

漆紙文書集成

正倉院木簡の用途——原秀三郎氏の所説に接して——

岸俊男会長の思い出

彙報

稲岡耕二
大庭 脩

佐藤宗諱・橋本義則
東野治之
平野邦雄

頒価 三八〇〇円 千四〇〇円